

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

品種名 メルロー

圃場状況

場所	佐久市印内674-18
標高	700m
仕立て方	垣根式 ギュヨ/コルドン
列の向き	東西
植付の間隔	列間2.5m × 樹間1.25m
土壌条件	粘土質

栽培状況

定植日	H29/6/11
施肥日	H28/開墾後 苦土重焼リン:60kg、苦土石灰:150kg、牛ふん樹皮バーク堆肥:200L H29/定植時 無施肥 H30/2年目 4月:ホウ素10g、6月:硫安25g H31/3年目 無施肥
防除日	①4/28 石灰硫黄合剤、ベンレート
薬剤の種類	②5/12 スミチオン ③6/2 ペンコゼブフロアブル、ダイアジノン ④6/17 テランフロアブル ⑤6/26 テランフロアブル ⑥7/3 コサイト3000 ⑦7/10 コサイト3000 ⑧7/25 コサイト3000 ⑨8/4 コサイト3000、アーデントフロアブル ⑩8/15 コサイト3000、アディオン ⑪8/27 コサイト3000、オンリーワンフロアブル ⑫9/8 コサイト3000

管理作業

かん水	5/10
除草	5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック	巡回/捕殺
防獣ネット張り	5/26
摘芯	8/3
収穫	10/14
凍害対策	対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長：1.6m以上

8/3摘芯実施、脇芽は多い。

樹勢：普通

写真



考察

1. 適度なバラ房だが、着色のバラツキが目立つので

除葉、摘房のタイミングをつかむ必要あり。

2. 3年目では房のサイズは150g程度(摘房はなし)

様式1-1

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

品種名 シャルドネ

圃場状況

場所	佐久市印内677-16
標高	750m
仕立て方	垣根式 ギュヨ
列の向き	東西
植付の間隔	列間2.5m × 樹間1.00m
土壌条件	粘土質

栽培状況

定植日	H29/5/21
施肥日	H29/開墾後 炭カル:160kg、ようりん:260kg、牛ふん堆肥:500kg、 苦土石灰:畝列(計20kg) H30/2年目 4月:ホウ素10g、6月:硫安25g H31/3年目 無施肥
防除日 薬剤の種類	①4/28 石灰硫黄合剤、ベンレート ②5/12 スミチオン ③6/2 ペンコセブフロアブル、ダイアジノン ④6/17 テランフロアブル ⑤6/26 テランフロアブル ⑥7/3 コサイト3000 ⑦7/10 コサイト3000 ⑧7/25 コサイト3000 ⑨8/4 コサイト3000、アーデントフロアブル ⑩8/15 コサイト3000、アディオン ⑪8/27 コサイト3000、オンリーワンフロアブル ⑫9/8 コサイト3000

管理作業	
かん水	5/10
除草	5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック	巡回/捕殺
防獣ネット張り	5/26
摘芯	8/3
収穫	9/21
凍害対策	対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長:160cm以上

8/3摘芯実施、全体的に伸びが良い。

樹勢:強め

主幹径は平均3cmを超えた。結果枝本数は平均6本程度

長芽の優勢伸長が顕著な株が多い

写真



考察

1. 1樹あたり8房/1kg程度の収穫量あり

防獣ネットに対応したが食害は少量あり

2. 3年目では房のサイズは120g程度(摘房はなし)

様式1-1

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

品種名 アルモノワール

圃場状況

場所	佐久市印内674-16
標高	700m
仕立て方	垣根式 ギュヨ
列の向き	東西
植付の間隔	列間2.5m × 樹間0.75m
土壌条件	粘土質

栽培状況

定植日 H29/04/27

施肥日 H29開墾後 炭カル: 240kg、ようりん: 80kg、牛ふん堆肥: 全面1.5t、
苦土石灰: 畝列(計60kg)
H30/2年目 4月: ホウ素10g、6月: 硫安25g
H31/3年目 無施肥

防除日	①4/28	石灰硫黄合剤、ベンレート
薬剤の種類	②5/12	スミチオン
	③6/2	ペンコゼブフロアブル、ダイアジノン
	④6/17	テランフロアブル
	⑤6/26	テランフロアブル
	⑥7/3	コサイト3000
	⑦7/10	コサイト3000
	⑧7/25	コサイト3000
	⑨8/4	コサイト3000、アーデントフロアブル
	⑩8/15	コサイト3000、アディオン
	⑪8/27	コサイト3000、オンリーワンフロアブル
	⑫9/8	コサイト3000

管理作業

かん水	5/11
除草	5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック	巡回/捕殺
防獣ネット張り	5/26
摘芯	
収穫	10/23
凍害対策	対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長：最長約130cm

伸長よりも脇芽の繁茂が激しく、整枝が重要である。

樹勢：明らかに強く、全枝に着果するので摘房は必須

写真



考察

1. 糖度の上りは緩やか、酸度の残りは長い。

3年目も小房サイズ、粒サイズがまばらの傾向である。

2. 3年目では房のサイズは100g程度に増量した

3. 昨年に大量発生した葉ダニは抑えられた

ワイン用ぶどう試験栽培委託業務報告書

委託期間 平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日

品種名 ピノグリ

圃場状況

場所	佐久市印内674-16
標高	700m
仕立て方	垣根式 ギュヨ
列の向き	東西
植付の間隔	列間2.5m × 樹間0.75m
土壌条件	粘土質

栽培状況

定植日	H29/4/27
施肥日	H29開墾後 炭カル:240kg、ようりん:80kg、牛ふん堆肥:全面1.5t、 苦土石灰:畝列(計60kg) H30/2年目 4月:ホウ素10g、6月:硫安25g H31/3年目 無施肥
防除日 薬剤の種類	①4/28 石灰硫黄合剤、ベンレート ②5/12 スミチオン ③6/2 ペンコゼブフロアブル、ダイアジノン ④6/17 テランフロアブル ⑤6/26 テランフロアブル ⑥7/3 コサイト3000 ⑦7/10 コサイト3000 ⑧7/25 コサイト3000 ⑨8/4 コサイト3000、アーデントフロアブル ⑩8/15 コサイト3000、アディオン ⑪8/27 コサイト3000、オンリーワンフロアブル ⑫9/8 コサイト3000
管理作業	
かん水	5/11
除草	5月~9月の間に2回/月ペースで除草
害虫チェック	巡回/捕殺
防獣ネット張り	5/26
摘芯	
収穫	9/22
凍害対策	対策なし

様式1-2

結果（新梢の長さ、樹勢の強弱等）

新梢長：最長約120cm

枝径の成長、芽数は緩やかだが着果は良い。

樹勢：弱め

写真



考察

1. 糖度の上り、酸度の落ちは早く早熟である。

獣害が最も早く始まり、対策が遅れた。

2. 3年目では房のサイズは70g程度に増量した。